

都市再生整備計画 事後評価シート
港南区日野地区

平成23年3月

神奈川県横浜市


様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	横浜市		地区名	港南区日野地区			面積	1167 ha				
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	3,941.8 百万円	国費率	40%						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名												
			基幹事業	(道路)日野九丁目道路、日野川光明橋 (公園)日野中央公園 (河川)準用河川日野川改修、日野南雨水調整池 (高質空間形成施設)日野川プロムナード (高次都市施設)日野南コミュニティハウス											
	当初計画から削除した事業		提案事業	(事業活用調査)水と緑のネットワーク検討調査、日野川生物相・水質調査											
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響								
	新たに追加した事業		基幹事業	なし			-			-					
提案事業			なし			-			-						
交付期間の変更		当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-								
		変更	-												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
	指標1	河川流下能力	m3/秒	58	基準年度	H17	目標年度	H22	モニタリング	評価値	58	×	ありなし	事業工程の遅れにより、流下能力最小地点の河川改修を完了させることができなかった。	平成23年4月
	指標2	水のネットワーク整備量	m	720	H17	1,120	H22			1,120	○	ありなし	川沿いの通路整備など、水のネットワークの充実が図られた。	平成23年4月	
	指標3	地域まちづくり活動のための施設利用回数	回/年	8,179	H17	12,900	H22			13,184	○	ありなし	活動拠点施設の増加により利便性が向上し、施設稼働率が上がった。	平成23年4月	
	指標4	川に関するイベントの参加者数	人/年	13	H17	30	H22			47	○	ありなし	河川への関心が高まり、イベントへの参加者が増えた。	-	
	指標5	公園緑地愛護会活動等への参加者数	人/年	462	H19	500	H22			503	○	ありなし	利用環境向上により公園への関心が高まり、愛護会活動への参加者が増えた。	平成23年5月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
	その他の数値指標1	河川流下能力(交付期間内事業区間)	m3/秒	68	H17				90		日野川下流部の流下能力を上げることができ、周辺地域の治水安全度の向上が図られた。	平成23年4月			
	その他の数値指標2	-	-	-	-				-		-	-			
4)定性的な効果発現状況	・コミュニティハウス・地域ケアプラザなどの地域活動拠点が充実し、市民の方から「より身近な場所で充実した活動ができるようになった」との声が届いている。 ・コミュニティハウスが企画した講座が住民主体のサークル活動に発展するなど、地域活動の活性化が図られている。														
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた				-				
	住民参加プロセス	水と緑のネットワークづくりワークショップ					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-				
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた				-					
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-					
								都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			

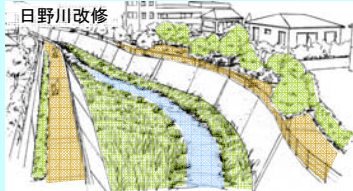
様式2-2 地区の概要

港南区日野地区(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画の成果概要


まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
・地区内を流れる日野川の治水安全度を向上させる。 ・県道横浜鎌倉線に平行した大岡川の支流、日野川を中心とした大岡川を活かした水のネットワークと日野公園墓地、日野中央公園及び鍛冶ヶ谷二丁目緑地などの緑のネットワークを形成する。 ・市民協働でまちづくりを進める。	河川流下能力	単位: m ³ /秒	58	H17	90	H22	58	H22
	水のネットワーク整備量	単位: m	720	H17	1,120	H22	1,120	H22
	地域まちづくり活動のための施設利用回数	単位: 回/年	8,179	H17	12,900	H22	13,184	H22
	川に関するイベントの参加者数	単位: 人/年	13	H17	30	H22	47	H22
	公園緑地愛護会活動等への参加者数	単位: 人/年	462	H19	500	H22	503	H22



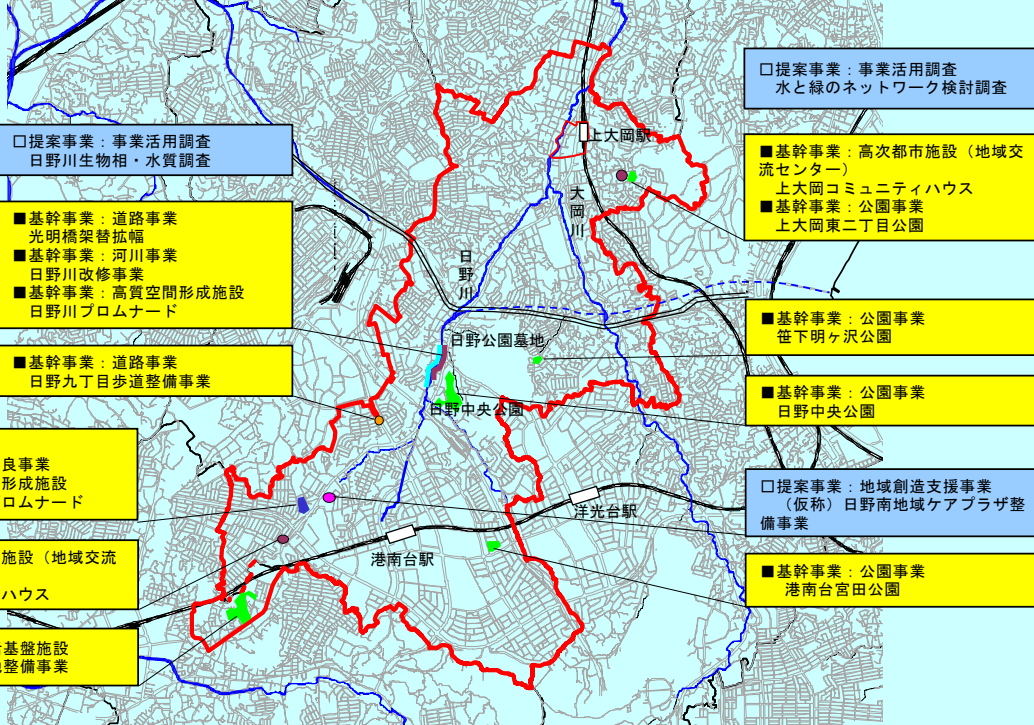
日野中央公園




日野川改修




水と緑のネットワーク検討調査






日野川生物相・水質調査



上大岡コミュニティハウス



日野南地域ケアプラザ

まちの課題の変化

- ・日野川の改修の進捗が図られ、従前よりも治水安全度が向上した。
- ・日野川下流では改修と合わせて川沿いに安全で快適な歩行空間が確保された。
- ・日野九丁目では、住宅街とバス停をつなぐルートの整備により、安全で快適な歩行空間が確保された。
- ・コミュニティハウス及び地域ケアプラザの整備により、①住民が自ら行う生活環境向上のための活動の場、②活動を通じたコミュニティの醸成・地域連帯意識の形成のできる場が完成した。各種団体の利用回数や団体登録数、参加者数等が毎月増加するなど、地域活動の活性化が図られている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・コミュニティハウスや地域ケアプラザが整備され、地域活動の拠点ができた。今後はソフト面で住民と行政のパートナーシップを継続し、地元が主体となった地域活動の継続・定着をはかる。
- ・さらなる治水安全度向上のため、引き続き日野川の改修をすすめる。日野川の改修と合わせて、川沿いのプロムナードを整備するなど、水と緑のネットワーク拡充をはかる。
- ・地域活動拠点施設における利用者のマナー向上のため、呼びかけや掲示により利用者の意識啓発を行う。

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
港南区日野地区

平成24年3月

神奈川県横浜市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	河川流下能力	m3/秒	58	90	58	確定 見込み	●	×	あり なし	●		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	事業工程の遅れにより、流下能力最小地点の河川改修を完了させることができなかった。		
指標2	水のネットワーク整備量	m	720	1,120	1,120	確定 見込み	●	○	あり なし		1,120	H 23年 4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	川沿いの通路整備など、水のネットワークの充実が図られた。
指標3	地域まちづくり活動のための施設利用回数	回/年	8,179	12,900	13,184	確定 見込み	●	○	あり なし		15,537	H 23年 4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地区内の活動拠点施設の増加により、利便性が向上し、施設の利用回数が増加した。
指標4	川に関するイベントの参加者数	人/年	13	30	47	確定 見込み	●	○	あり なし			H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	河川への関心が高まり、イベントへの参加者が増加した。
指標5	公園緑地愛護会活動等への参加者数	人/年	462	500	503	確定 見込み	●	○	あり なし		514	H 23年 5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	利用環境向上により公園への関心が高まり、愛護会活動への参加者が増加した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
その他の数値指標1	河川流下能力(交付期間内事業区間)	m3/秒	68	/	90	確定 見込み	●	/	/	/	90	H 23年 4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	日野川下流部の流下能力をあげることができ、周辺地域の治水安全度の向上が図られた。
その他の数値指標2			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	安全で快適な歩行空間の形成	通路の除草・清掃	快適な歩行空間が維持されている。	特になし。
	治水安全度の向上	施設の点検・清掃業務	整備された施設の機能が正常に維持され、本事業により向上した、地区内の治水安全度が保たれている。	特になし。
	活発化した地域活動の継続と定着	地域活動、イベント等への行政の協力支援	指定管理者制度の導入により、各施設で自主事業が行われるなど、市民が利用したくなる施設運営がなされることで、施設の利用回数が増加している。	特になし。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	日野川中流～上流における連続した歩行空間の確保	日野川沿いに更なる歩行空間を確保するため、本計画を引き継ぐ、2期計画を策定。	日野川沿いの歩行空間を整備する具体的な5か年間のスキームを立て、平成23年度からの事業に着手した。	引き続き、整備の推進に努め、日野川沿いの快適な歩行空間の確保を目指す。
	河川改修の早期完了	日野川改修を円滑に推進するため、本計画を引き継ぐ、2期計画を策定。	日野川改修の具体的な5か年間のスキームを立て、平成23年度からの事業に着手した。	引き続き、日野川改修の円滑な推進に努め、早期完了を目指す。
	地域活動拠点施設における利用者マナー	施設利用のマナーに関する呼びかけ 掲示等でのPR	利用者マナーが適切に守られ、快適な施設環境が維持されている。	特になし。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(精算報告)

こうなんくひのちく
港南区日野地区

かながわ よこはまし
神奈川県 横浜市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜 横浜市	地区名	港南区 日野地区	面積	1167 ha
計画期間	平成 元 年度	～	平成 27 年度	交付期間	平成 18 年度	～	平成 22 年度

目標

- ・地区内を流れる日野川の治水安全度を向上させる。
- ・県道横浜鎌倉線に平行した大岡川の支流、日野川を中心とした大岡川を活かした水のネットワークと日野公園墓地、日野中央公園及び鍛冶ヶ谷二丁目緑地などとの緑のネットワークを形成する。
- ・市民協働でまちづくりを進める。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

港南区は、上大岡駅周辺を核として商業・業務・文化機能が集積し、横浜市の副都心として位置付けられている。区内の道路交通としては、県道横浜鎌倉線が交通ネットワークの重要な動脈として縦断している。また、鉄道では京浜急行及び市営地下鉄が縦断し、区南部においてはJR根岸線が横断し、鉄道交通ネットワークの重要な位置付けとなっている。水のネットワークとしては大岡川を動脈として、上大岡駅付近で大岡川(笹下川)と日野川とが合流している。この大きな支川が合流する下流は神奈川県により環境整備が進められ、市民の憩いの場として整備され、都会のオアシスとして周辺の市民に広く利用されています。当該計画は、この大岡川を軸に、流域に点在する公園や雨水調整池などの拠点とのネットワーク化を図るとともに、洪水対策を併せて進め、「安全で快適なまちづくり」を市民と協働して進める。
なお当該計画は平成17年7月に策定した都市計画マスタープラン港南区プランを基に、モデル的な計画として進める。

課題

- ・当該計画地の港南区日野地区は、鉄道の駅から離れているため、バス路線の充実と道路交通の混雑緩和が重要な課題であるとともに、自転車や歩行者の快適な空間が求められています。
- ・近年台風などの大雨時には浸水被害が発生しているため、早期の河川改修が望まれています。
- ・日野南地区は、地域活動が活発な地域であるにもかかわらず、活動の拠点となる施設が整備されていません。

将来ビジョン(中長期)

「横浜市都市計画マスタープラン・港南区プラン(H17・7)」

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
河川流下能力	m ³ /秒	1秒間に流下する河川水量	河川整備により流下能力を改善し、洪水発生頻度を低減し安全度の向上を図る。	58	H17	90	H22
水のネットワーク整備量	m	河川沿い通路の舗装路延長	河川沿いの通路を整備することにより、水と緑のネットワークを進めます。	720	H17	1,120	H22
地域まちづくり活動のための施設利用回数	回/年	コミュニティハウス地区の市民利用施設の利用回数	施設の利用頻度が、市民協働によるまちづくり活動の活発度を現す。	8,179	H17	12,900	H22
川に関するイベントの参加者数	人/年	市民活動によるイベントを実施している	イベントの参加者が増えることで川または環境に対する意識が高まり、防災への意識も向上したと評価できる。	13	H17	30	H22
公園緑地愛護会活動等への参加者数	人/年	公園緑地の愛護会活動等の参加者数	公園緑地愛護会活動に参加することで、環境資源に対する関心が深まる。	462	H19	500	H22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
洪水からの安全度を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・河川事業(日野川、日野南雨水調整池)
歩行者と自転車交通の快適性と利便性を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・道路事業(日野9丁目道路、日野川光明橋架替拡幅分) ・高質空間形成施設事業(日野川プロムナード)
<p>都市計画マスタープラン港南区まちづくりプラン(原案)のモデル的な事業として進める。</p> <p>緑の拠点及び水と緑のネットワークの創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・河川事業(日野川) ・高質空間形成施設(日野川プロムナード、日野南雨水調整池プロムナード) ・公園事業(日野中央公園、港南台宮田公園、上大岡東二丁目公園、笹下明ヶ沢公園) ・地域生活基盤施設(鍛冶ヶ谷二丁目緑地) ・高次都市施設(日野南コミュニティハウス上大岡コミュニティハウス)
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園緑地の整備により都市環境を改善する。(公園事業(日野中央公園、港南台宮田公園、上大岡東二丁目公園、笹下明ヶ沢公園)、地域生活基盤施設(鍛冶ヶ谷二丁目緑地)) ・地域住民の学習や趣味の講座等グループ活動を通じたコミュニケーションの場の提供。(日野南コミュニティハウス、上大岡コミュニティハウス、(仮称)日野南地域ケアプラザ) 	

